

ツクシビャクシン

Juniperus chinensis var. *tsukusiensis*

ヒノキ科

カテゴリー

大分県

環境庁 掲載なし



種
子
植
物

火山山頂帯の草原や林縁に生える低木の常緑針葉樹。幹枝は風のため^{ほふく}匍匐して屈曲し、小枝は斜上または上向する。若木には針葉があるが、老成すれば大部分が鱗片葉^{りんぺん}となる。九州特産種。本県で、生育が確認できる所は極めてまれで、「九重火山群」の標高1,300m以上の尾根筋などにわずかに生える。生育地には登山者が多く、損傷されたり、採取されるおそれがあり、生育地の減少や消滅が懸念される。

(写真：荒金正憲 文：生野喜和人)

県内分布 九重火山群

分布域 九州(佐賀・長崎・大分・宮崎)